就労支援部会発表

今年度より、就労支援部会部会長をさせて頂く事となりました、B型事業所アクセプトの甲斐大地と申します。なかなか大勢の前でお話を差し上げる機会もなく、緊張しております。

何分、部会長という大役も初めての事でございます。不手際もございます事、ご容赦頂きますようよろしくお願い申し上げます。

では早速、令和４年度の状況をご説明させていただきます。

就労支援部会は令和５年５月１日時点で部会員数４４名となっております。

令和４年度、定例会をしっかり開催する事が出来たのは６月度、１１月度、１２月度、３月度となりました。

コロナ渦中であった事もあり、集まりにくい状況はあったものの、それでも正直に申しあげますとしっかり運営する事ができていなかったと思います。

私も部会員として参加しておりましたが、部会を盛り上げていく事が出来なかったことは反省しなければいけない点かと考えております。

では、令和４年度の活動内容を確認致します。

令和４年度はいくつか研修を行う事が出来ました。

まず、MSPA（エムスパ）と呼ばれる発達障害の要支援度の評価尺度について学ぶ研修を行いました。

また、特別支援学校の進路指導担当教諭をお招きしての研修も実施しております。

さらに、農福連携と地域共生社会を実現している京都府京田辺市にございます、就労継続支援B型事業所「さんさん山城」の施設長、新免修様をお迎えしての実践報告を行いました。

これらの研修につきましてはズームを利用しハイブリット化するなど、参加しやすい状況をつくる事も出来たように思います。

このように研修に関しましてはある程度の実績をつくる事が出来たかと存じます。

続いて、課題につきまして申し上げます。

資料にもございます通り、就労支援部会でありながら就労系事業所の定例会への参加が少ない状況が継続しております。

参加する事で得られるものをもっと形にしていかなくては、参加していただけないように思います。

簡単ではありますが、令和４年度の状況につきましては以上となります。

続きまして、令和５年度の活動予定について発表させて頂きます。

資料に関しましては、前任の部会長様が作成されたものとなっております。踏襲していける部分につきましては、そのようにしていきたいと考えております。

ただ、これからお話差し上げる内容と相違がございます。ご容赦頂けますようよろしくお願い申し上げます。

前置きはこのくらいにしておきます。今年度について申し上げます。

令和４年度にも課題として浮彫となっている、就労系事業所の参加が少ない点は改善していかなくてはなりません。部会参加を促してく為には、部会に魅力が無くてはならないと思います。部会の魅力アップは必須の課題と言えそうです。

また、コロナ渦は過ぎ去り、人が集える社会が戻りつつあります。そこで、今年度は２０１９年に開催して、それ以降実施できなかった「合同企業説明会」を再開させたいと考えております。２０１９年の合同企業説明会、私も会場設営等お手伝いした記憶がございます。当日も大変に盛況であったと記憶しております。とても良い取組であったと思います。再開させるべきだと考えております。

このように、就労支援部会として、取り組むべきこと、それは「障害を持った方も安心して働く事が出来る地域づくり」だと思います。地域をつくるためには、支援者、当事者などの身内だけではなく社会全体へアプローチしていくほかなく、その役割を果たしていく事こそ、自立支援協議会としてのやるべきことと考えます。

できることはたくさんあると思います。働きたいに応える社会・地域づくり。今年度はこのことを意識して取り組みたいと考えております。

具体的に申し上げます。

一つ目、今年度は「障害のある方の就労を考える３ヶ月間」と題しまして、３ヶ月間をかけ、当事者向け就労相談会、企業向け障がい者雇用促進説明会、合同企業説明会と３か月連続のイベント実施を考えております。これは、現時点では案にしかすぎず、状況に応じて変更されることがございます事ご了承下さい。出来るかどうかはさておき、そういった取り組みこそが社会、地域を変えていく動きだと思います。また、就労を考えた時に、これは、「児童から大人」へと切り替わるターニングポイントでもあると言えます。「児から者」もテーマとして含めていけたらと考えております・

二つ目、お仕事応援マップの更新を行います。相談支援部会とのプロジェクトとして取り組む事が出来ればと考えます。

お仕事応援マップは平成２９年に作られました、就労系事業所等の情報が集約された事業所選びのためのツールです。冊子になっており、インターネットでのダウンロードが出来ます。しかし、先に申し上げました通り、平成２９年以降、更新がなされておらず、実情と違った内容のままとなっております。今年はまず、このお仕事応援マップを更新する事も目指します。

こういった取り組みを目玉として、魅力ある部会づくりを目指していきます。それをもって広報活動に臨み、部会員の確保につなげていけるようにしたいと考えております。

簡単ではありますが、令和５年度の活動計画についてお話させていただきました。コロナ渦中で停滞気味であった部会活動も今年度は盛り上げていかなくてはならないと考えております。みなさまのご理解、ご協力がいただけますと幸いです。

以上が就労支援部会からの発表です。ご清聴誠にありがとうございました。